

白洲次郎山荘記念

蔵王駆け抜けよう

来月・山形で大会

吉田茂元首相の側近として戦後復興に尽力し、東北電力初代会長を務めた実業家白洲次郎（1902～85年）が、山形市の蔵王温泉に建てた山荘を記念する「ヒュッテ・ヤレン杯蔵王温泉国際トレイランニング大会」が6月15日、山荘周辺で初開催される。

山荘「ヒュッテ・ヤレン」の保存活動などに取り組むNPO法人「元氣・まちネット」（東京）

の主催で、参加者を募集している。種目は個人リレー（1チーム3人）、親子（2人）の3部門。いずれも山荘付近を発着点とし、25～3キロの山野を走る。

大会当日と前日の14日は、山荘内部が公開され、ガイドの案内で見学することができる。

NPO法人の矢口正武代表理事は「歴史的価値のある山荘を多くの人に知ってもらおうきっかけに

したい」と説明。今後、蔵王の初夏のイベントとして大会の継続開催を目指す。

山荘は、スキーが趣味で蔵王の美しさにひかれた白洲が1957年に建設した。2階建て約70平方メートルの洋風建築で、NPO法人が所有者の承諾を得て、保存活用に取り組んでいる。

大会は午前8時スタート。参加費は個人8000円、リレーは1チーム1万8000円、親子は1組6000円。希望者は今月15日までに大会ホームページから申し込む。定員は300人（先着順）。

連絡先は事務局の矢口さん0990（5494）8699。